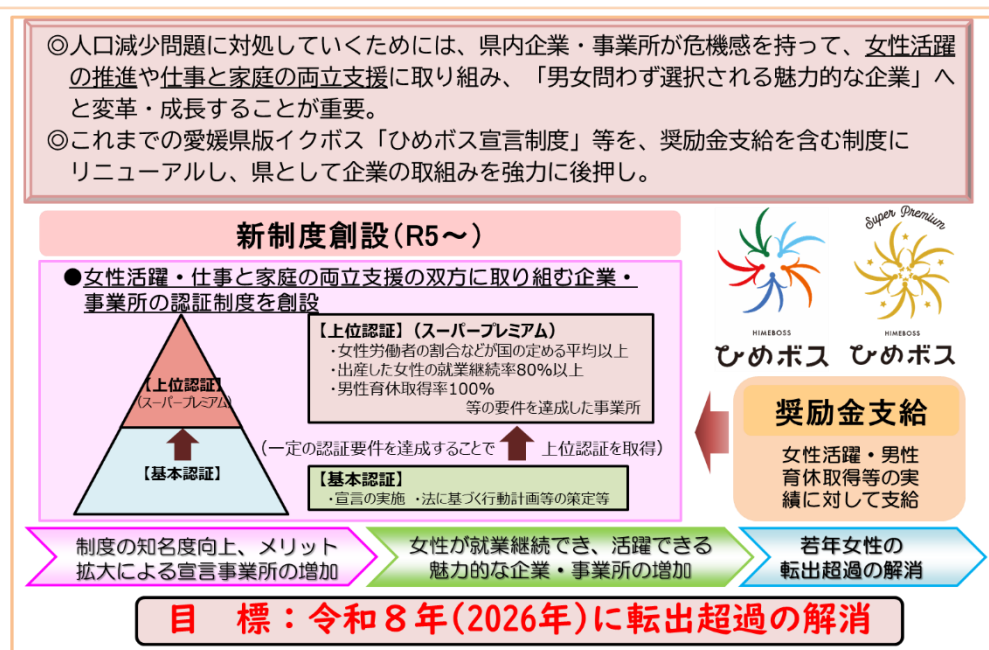


令和 6 年度 少子化対策・男女参画室事業実施状況

■ひめボス宣言事業所魅力化支援事業費

本県の人口減少問題に対処していくためには、県内企業・事業所が危機感を持って、女性活躍の推進や仕事と家庭の両立支援に取り組み、「性別を問わず誰もがいきいきと働ける魅力的な企業」へと変革・成長し、全ての労働者が働きやすく、働きがいのある環境となることが重要であり、県として事業所の取組みを強力に後押しすることで、本県の人口減少要因の一つである若年女性の転出超過を解消につなげます。

ひめボス宣言事業所認証制度 事業スキーム



○ひめボス宣言事業所の認証

ひめボス推進アドバイザー等の積極的な訪問支援により、女性活躍や働き方改革の重要性や取組みへのアドバイス、制度の紹介等によりひめボス宣言事業所を拡大しています。

さらに、事業所の具体的な取組みを促すため、ひめボス推進コンサルタント(社労士等)による伴走支援を実施しています。

- ・認証実績(令和7年1月22日現在)

ひめボス宣言事業所 基本認証 627 事業所

〃 スーパープレミアム認証(上位認証) 10 事業所

(ジャスティン(株)、(株)マルカワ、佐川印刷(株)、愛媛県国民健康保険団体連合会、(株)伊予鉄高島屋、(株)愛媛銀行、(株)伊予銀行、(株)アイクコーポレーション、(株)フジコソ、(医)平成会山内病院)

○奨励金の支給

スーパープレミアム認証の取得、ひめボス宣言事業所における女性活躍や男性育休取得等の実績に対し、奨励金を支給しました。

- ・令和6年度支給実績(令和7年1月22日現在)

奨励金 100 万円：3 社

奨励金 20 万円：8 社

奨励金 10 万円：10 社

○ひめボス宣言事業所認証制度の周知・広報（テレビCM制作）

県民に対して広くひめボス宣言事業所認証制度を発信するため、幅広いユーザーが視聴するテレビメディアを活用して情報を届けるとともに、ひめボス認証制度自体の認知拡大やブランドイメージの向上を図りました。

- ・制作物：テレビCM（15秒 ver.、30秒 ver.）
- ・放送期間：令和6年12月～令和7年2月



○ひめボス宣言事業所の表彰（ひめボス宣言事業所アワード）

特に高い実績を挙げた事業所の表彰・基調講演を行い、優良事例の県内への波及を図ります。

- ・開催日時：令和7年2月26日（水）
- ・開催場所：ANAクラウンプラザホテル
- ・被表彰企業：7社
（株）伊予鉄高島屋、（株）愛媛銀行、（株）伊予銀行、（株）アイクコーポレーション、（株）フジコソ、（医）平成会山内病院、ベルグアース（株）
- ・基調講演：「多様性を活かすこれからの職場とは」
宮原 淳二 氏
（株）東レ経営研究所 DE&I 共創部長）



○いきいきと活動する女性によるイベント開催（女たちの語り場サロン）

ひめボス宣言事業所や、女性起業家・農業林業従事者等各界で活躍する女性のトークセッションやロールモデルの紹介等を行うイベントを開催し、特にライフイベントの変化に伴う影響を受けやすい女性がモチベーションを維持しながら就業を継続できるよう、県内で、自分のありたい姿に向かっていきいきと歩む女性を見える化することで、愛媛が「やりたいことを実現できる」地域であることを広く県民に感じてもらう機会としました。

- ・開催日時：令和6年11月1日（金）
- ・開催場所：今治国際ホテル（今治市）
- ・参加者：72名
- ・内容：パネルディスカッション、会場 Q&A セッション、テーブルディスカッション

（パネルディスカッション）

- 丹後 佳代 氏 （株）丹後 取締役
- 村上 友美 氏 1day1spoon 主催、麴の学校認定講師、上級麴士、栄養士
- 倉瀬 真帆 氏 今治地域おこし協力隊、ハッピーサイクルクリエイター

（司会）

- 合田 みゆき 氏 フリーアナウンサー



■ひめボス宣言事業所魅力発信事業費

ひめボス宣言事業所の取組実績を見える化し、県内出身者や県内学生へ広く周知していくことで、県内の魅力的な企業を知るきっかけとなり、若年層の県内就職を促進するとともに、認証企業の取組みを加速させました。

○ひめボスデータベース（仮称）の作成

主に学生向けに、ひめボス認証事業所の取組みや社内の雰囲気、先輩職員の声、愛媛の暮らしやすさなどに関する情報発信を行うことを目的とした特設サイト「ひめボスデータベース（仮称）」の開設（令和6年度中）に向け、システム構築や企業への取材活動などの準備を進めています。

・掲載情報（予定）：

（1）愛媛の生活環境情報

- ・愛媛の暮らしやすさを表す客観的な指標や魅力
- ・東京など都市部と愛媛県の生活の違い など

（2）企業の雇用環境情報

- ・各企業における働きやすい職場環境の整備や女性活躍、仕事と家庭の両立支援等に関する具体的な取組み内容（取組みができていない項目をイラストで表現）
- ・各企業で働く社員のリアルな声（職場の雰囲気や魅力、1日のスケジュール、学生へのメッセージ、プライベートの過ごし方 など）
- ・実際の職場の雰囲気などが分かる多数の写真 など

○ひめボス特集記事・冊子の制作

ひめボス宣言事業所認証制度及び認証企業の取組み内容について、県内の中高生などに周知を図るため、制度及び認証企業を紹介する特集記事を掲載した冊子を作成しました。

- ・媒体：「ココロエえひめ」2025年3学期号（令和7年1月発刊）
- ・掲載内容：「ワークライフバランスを実現する企業特集」

ひめボス宣言事業所認証制度の紹介記事

ひめボス認証企業の紹介記事（10社及び愛媛県庁）

（ジャスティン(株)、(株)マルカワ、(株)伊予銀行、(株)伊予鉄高島屋、(株)愛媛銀行、愛媛県国民健康保険団体連合会、佐川印刷(株)、(株)フジコソ、(株)あわしま堂、ベルグアース(株)）

- ・ライフデザイン講座実施校の取組紹介（宇和島中等教育学校）
- ・作成部数及び配布先：41,000部（県内全域の約200校の中学・高校、協賛企業）

○ひめボスPRツールの制作

ひめボス宣言事業所認証制度及び認証取得企業の認知度を向上させ、県内学生や県内出身者へ広く周知するため、各種イベントで活用できるPRツールを制作しました。

- ・制作物：旗（ひめボスみきゃん） 1式
- ミントタブレット 1,000個
- ウェットティッシュ 3,000個
- 手穴ポリ袋（A4） 3,000枚

- ・配布実績：文化祭・大学祭でのひめボスブース出展・PR ほか

令和6年11月2日(土)～3日(日) 新居浜工業高等専門学校 国領祭

令和6年11月9日(土)～10日(日) 松山東雲女子大学・短期大学 東雲祭

令和6年11月16日(土)～17日(日) 松山大学大学祭 熟田津祭



来場者数6日間計約1,000名、ひめボスPRツール約2,000セット配布

■魅力ある職場環境づくり支援事業費

人口減少に伴う人手不足が深刻化する中、働き方改革による労働生産性向上の必要性について企業にきめ細やかなアプローチにより啓発を図るとともに、一定の意識レベルに達している企業において取組みの牽引役を担うリーダーを養成することで企業の自発的な取組みを支援し、働き手から選ばれる魅力ある職場環境の創出につなげています。

○愛媛県働き方改革包括支援プラザ運営事業

愛媛労働局と連携して、企業の働き方改革のワンストップ拠点を開設し、窓口相談、企業訪問等を通じて働き方改革に関する意識啓発や取組の促進を図っています。

- ・拠点名称：愛媛県働き方改革包括支援プラザ（愛称：働（はた）ナビえひめ）
- ・開所時間：9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）
- ・業務内容：
 - 働き方改革に関する窓口相談、個別訪問支援
 - プッシュ型働き方改革出前講座の実施
 - 企業ニーズに応じた支援機関への取り次ぎ
 - 働き方改革取組ガイド・事例集の普及啓発 など
- ・業務状況：（令和6年12月末時点）
 - 相談件数：774件
 - うちプッシュ型働き方改革出前講座：472件
 - 延べ支援企業数：314社
 - 取組ガイドの普及啓発：311件

○働き方改革推進リーダー養成事業

県内中小企業が自発的に働き方改革を推進していく上で、その牽引役となる人材を育成するため、法制度や働き方改革による労働生産性向上に向けた実践手法等を集中的に学ぶ養成講座を開催するとともに、個別フォローを実施しました。年度末までには、個別フォロー事例集を作成する予定です。

①働き方改革推進リーダー養成講座の開催

社内の課題把握と取組手法の検討方法、社内の理解と協力を得るためのノウハウ等、社内で働き方改革を実践する上で必要な知識と手法の習得するためのセミナーを開催しました。また、最終回では参加企業による約半年間の働き方改革に関する取組内容や成果、今後の取組方針等に関する共有会を行いました。

- ・対象：県内企業の経営者、人事担当者、職場リーダーなど
- ・開催日：（第1回）令和6年7月31日（水）愛媛県男女共同参画センター
（第2回）令和6年9月18日（水）愛媛県男女共同参画センター
（第3回）令和6年12月18日（水）愛媛県男女共同参画センター
- ・参加企業数：10社

②養成講座受講企業への個別フォローの実施

①の講座受講企業において実際に働き方の見直すための活動を実践し、社内で取組みを進める際の課題解決、対処手法等について企業ごとにコンサルタントによる助言等を行いました。

- ・支援企業数：10社
- ・支援期間：令和6年8月～11月

- ・ 支援回数：各社3回（原則対面1回、オンライン2回）

③個別フォローレポートの作成

②の個別フォローで対処した課題や企業に対する助言内容をまとめたレポートを作成し、県ホームページに掲載するほか、県や働ナビえひめにおける企業支援で活用する予定です。

- ・ 作成媒体：電子データ（PDF）
- ・ 作成時期：令和7年3月（予定）

■家事参画、育休支援事業

パートナー間のコミュニケーションの活性化等により、家庭内の家事シェアを一層推進するとともに、外部資源の活用など、多様な選択肢を取り入れるきっかけを提供し、家事・育児に関する無意識の思い込みを解消することにより個人や家庭、社会全体の意識変容を促し、女性活躍や仕事と家庭の両立支援を後押ししています。

○男性の家事参画促進、育休取得支援事業

①企業社員等を対象とした勉強会の実施

県内企業の社員等を対象に他企業の先進的・具体的な取り組みや家事分担、育児スキル等をテーマとして勉強会を実施しました。

- ・ 講師 経営者、キャリアコンサルタント、組織コミュニケーション講師等
- ・ 対象 ひめボス宣言事業所等の経営者、人事部門社員、若手社員等
- ・ 回数等 勉強会 30回（参加者合計約 650名）※実施予定分を含む
- ・ 開催テーマ 【経営者・管理職・人事担当者向け】全てのメンバーが安心して成長できる組織作り
【管理職向け】部下とのコミュニケーション実践研修
【若手～中堅社員向け】やる気を引き出すチームビルディング

②情報発信、交流会等の実施

県内で男性の家事参画促進、育休取得等に対して意識の高い個人や企業、経済団体等を対象に、SNSを活用した情報発信を行うとともに、育休中の男性等による交流会等を開催。

- ・ 講師 キャリアコンサルタント、家事スキル専門家等
- ・ 対象 育休中の男性、家事参画に興味のある個人、ひめボス宣言事業所の人事部門社員等
- ・ 回数等 交流会及び家事セミナー9回（7月～12月） 毎回定員15名程度
《全9回（東・中・南予各3回）実施し、100組249名が参加》
- ・ 内容 育休中の家事参加の体験談や他の育休者の過ごし方に関する座談会、直ちに実践できる家事スキルの講習等
- ・ 情報発信 特設サイトやSNSを活用し、交流会や家事セミナーの開催情報、実施結果等を発信するほか、育休中の過ごし方に役立つ家事や育児のワンポイント知識の紹介などを実施しました。



交流会の開催



特設サイトによる情報発信

○家事シェア推進キャンペーン事業

これまで家事参加や家事シェアに興味のなかった層にも家事参画への関心を持ってもらい、パートナー間で家事分担について話し合うきっかけ作りとするため、家庭における家事シェアの取組みに関し、家事の具体的内容や誰が担当しているかを「見える化」するキャンペーンを実施しました。

・応募対象：県内在住者（1世帯（同一住所）1回まで応募可）

※抽選で、100名に家事グッズ（洗剤セット）プレゼント

・キャンペーン実施時期

応募期間：令和6年7月1日～9月30日 抽選及び発送：11月

応募件数：683件

<アンケート結果>

参加者数：683名（女性：458名、男性：220名、答えたくない：5名）

Q. 自分に家事・育児の負担が偏っていると思うと回答した者の割合

（女性）

偏りはない	108人	23.6%
パートナーに偏っていると感じた	12人	2.6%
自分に偏っていると感じた	327人	71.4%
その他	11人	2.4%

（男性）

偏りはない	69人	31.4%
パートナーに偏っていると感じた	126人	57.3%
自分に偏っていると感じた	19人	8.6%
その他	6人	2.7%

Q. キャンペーン参加してみて、あなたの家事・育児の役割を見直そうと思いましたか。

（女性）

思った	158人	34.5%
少し思った	159人	34.7%
あまり思わない	107人	23.4%
思わない	23人	5.0%
その他	11人	2.4%

（男性）

思った	66人	30.0%
少し思った	95人	43.2%
あまり思わない	42人	19.1%
思わない	10人	4.5%
その他	7人	3.2%

《参加者の意見》

●手伝うという感覚ではなく、責任を持って自らやるという意識が重要と感じるので、行動で示していけるように頑張りたいです。（30代男性）

●パートナーとだけでなく、子どもがある程度成長してきたら、3人でという考えがあるので、「家事は家族みんなで」を心掛けたいと思います。（40代男性）

●協力をしているつもりでいたが、あらためてチェックを入れるとほとんどシェアできていないことに気づいた。今後改善してみたい。（50代男性）

●夫と協力したいが、仕事の拘束時間が長すぎて、シェアできません。家事シェアのために働き方の見直しをして欲しい。（30代女性）

●仕事の融通が効かない夫に無理に家事をやってくれとはいえないが、私に偏っていることを当たり前とは思わないで欲しい。お互いがストレスなく過ごせる環境づくりをこれからも話し合っていきたい。（40代女性）

●家事育児を協力するには、家庭レベルではどうにもならないところがある。「男性は仕事優先、家庭のことでは休みにくい。急な休みは母親がすべき」みたいな社会の風潮を変えてほしい。（40代女性）

●私たち世代は育児ではなく、今後介護になっていくが、育児も介護も協力しあうという点で

は一緒だと思う。日頃から、一方に任せきりではなく、なるべく自分でできるように心掛ける事が大切だと思う。(50代女性)

○家事シェア推進ブック作成業務

各家庭で家事シェアについて考え、話し合うきっかけづくりとしていただくことを目的に、家事・育児の悩みに対する解決策等を紹介した冊子を作成しました。

- ・タイトル：これからの家事シェアスタイルブック
- ・主な内容：データで見る愛媛の家事シェアの現状、家事・育児の悩みに対する解決策 20トピックス（料理編、掃除・洗濯編、名もなき家事編、育児・介護編）、家事シェアに関する地雷ワード・神ワード、家事シェアチェックリスト
- ・発行部数：6,000部
- ・主な配付先：市町、児童館、男女共同参画センター、県関連施設等



○家事代行サービスモデル事業

家事のアウトソーシングが新たな家事シェアの選択肢として加えられることで、男女が有している家事に対する無意識の思い込みの解消を図るため、モニター調査を実施し、利用する様子や感想等の取材結果を周知するための啓発冊子を作成しています。

- ・内容：約2万円相当の家事代行サービスを無料で体験
- ・応募対象：県内在住でモニター調査に協力可能な世帯※抽選10世帯
- ・募集期間：令和6年9月～10月 応募総数：168件

<アンケート結果>

Q.家事代行サービスを利用したことがありますか

利用したことがない	149人	89.2%
過去に利用したことがある	16人	9.5%
利用している	3人	1.7%

Q.家事代行サービスを利用しない理由について回答してください

予算の問題	84件	56%
信頼できる業者を知らない、調べるのが面倒	84件	56%
利用前にある程度片付けをしないといけないと思うから	53件	36%
家事にお金を払うことに抵抗がある	43件	29%
他者を自宅に入れることに抵抗がある	25件	17%
家事を他者にやってもらうことに抵抗がある	22件	15%
家事代行サービスの存在を知らなかった	13件	9%
そもそも必要性を感じない	4件	3%
同居家族の同意が得られない	1件	1%
その他	4件	3%

■ライフデザイン支援事業

人生における選択肢が多様化する中、ライフデザインに関する正しい知識（妊孕性を含む）知識や手法を学ぶことで、自身が希望するキャリアやライフイベントの実現可能性を高めることができるよう、講座やイベントを開催したほか、冊子を作成し、多くの若い世代に周知啓発を図りました。

○学校等における出前講座の実施

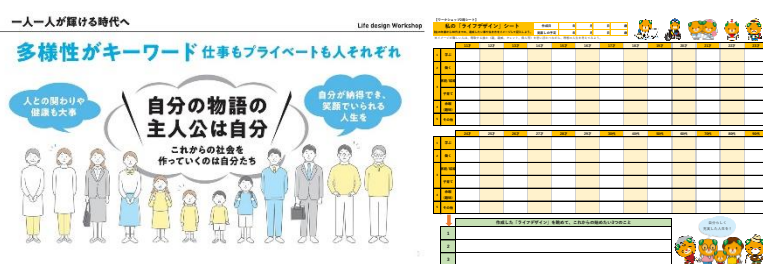
講師（キャリアコンサルタント等）による高校・大学等でのライフデザイン等に関する出前講座を実施しました。将来的なライフイベントを具体的に描くことに繋がるよう結婚や子育て、仕事と家庭の両立の実現等に関するデータの紹介のほか、過去の体験等に基づく自身の価値観の掘り起こしやライフデザインを実際に作成するワークなども取り入れています。

実施校（大学）

学校名	日時	学級数	人数
医療技術大学	11月6日	1回	100名
愛媛大学	11月20日	1回	132名
松山東雲短期大学	12月18日	1回	65名
松山大学	12月24日	1回	180名

実施校（高校）

学校名	日時	学級数	人数
宇和島南中等教育学校（5年生）	11月18日	4クラス	106名
東温高校（2年生）	12月4日	7クラス	210名
松山工業高校（2年生）	12月12、13日	8クラス	314名
新居浜東高校（2年生）	令和7年1月16日	7クラス	267名



○大学生のためのライフデザイン交流会の開催

県内企業で働く社会人等ロールモデルを招聘し、グループワーク等を通じて多様な意見や価値観を知り、学生自身の選択肢の幅を広げるための交流会を開催しました。

- ・日 時 令和6年12月11日（水） 17時～19時
- ・会 場 サイボウズ松山オフィス
- ・参加者数 31人（県内複数の大学から参加あり）

・パネリスト 様々な職種や立場で活躍する方をロールモデルとして選定

- ①フリーアナウンサー 松山ローカル大学代表 宮嶋 那帆氏
- ②起業家代表 株式会社まどんなクリエイト 代表取締役 武市 栞奈氏
- ③メディア代表 南海放送株式会社 報道局報道部 杉本 雅氏
- ④パラレルキャリア代表 一般社団法人フリースクール愛媛
代表 孕石修也氏



○ライフデザイン啓発ノートの制作

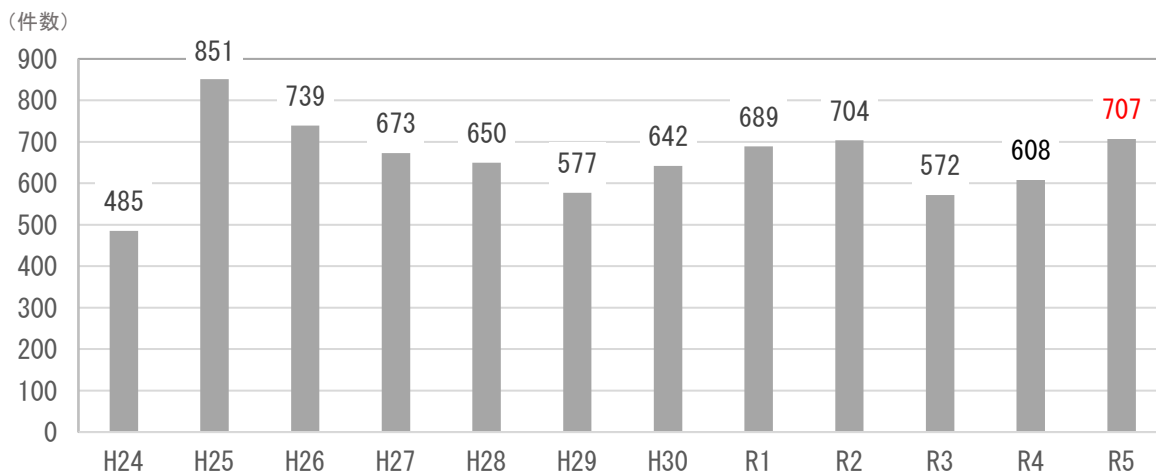
学校でのライフデザイン講座の実施内容などを踏まえ、若い世代が結婚、妊娠・出産、子育て、就業について前向きに考えることができ、授業でも活用可能な統計データ、ワークシートなどを掲載したノートを製作しています。

《掲載内容例》

- 1. 結婚：現代の結婚事情、多様な家族形態
- 2. 妊娠、出産：妊孕性、生活と健康
- 3. 就業：仕事を取り巻く現状、ワーク・ライフ・バランス、共働き世帯の現状
- 4. ロールモデルへのインタビュー
- 5. ライフデザインワークシート など

■性暴力被害者支援センター運営事業

○配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数



資料出所：愛媛県少子化対策・男女参画室調べ

※配偶者暴力相談支援センター

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のためDV防止法に基づいて設置された施設。現在、県内には3ヶ所の配偶者暴力相談支援センター（県福祉総合支援センター、県男女共同参画センター、新居浜市配偶者暴力相談支援センター（平成25年8月設置））が設置されています。

■DV防止対策推進事業

配偶者や恋人などの親しい男女間の暴力(ドメスティック・バイオレンス：DV)の防止や困難な問題を抱える女性への支援を図るため、DV防止対策推進会議の開催、関係機関の連絡会の開催、啓発資料の作成など、各種事業に取り組んでいます。

○愛媛県DV防止・女性支援施策推進連絡会議

- ・開催時期：令和6年10月4日
- ・会 員：DV・女性支援に対応する相談機関又は当該機関を所管する所属の長など(43名)
- ・内 容：DV防止対策、女性支援関係事業説明、提案議題の検討 など

○愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策推進会議

- ・開催時期：令和7年2月17日(予定)
- ・委 員：学識経験者、司法関係者、医療関係者、福祉関係者、教育関係者、報道関係者、実践活動者等(10名)
- ・内 容：県のDV防止対策関係事業の実施状況説明 など

○DV防止啓発資料作成

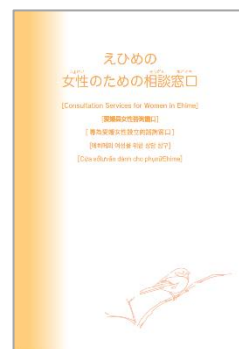
【DV未然防止資料(リーフレット)】

- ・部 数 5,000部(予定)
- ・配布先 県内各官公庁、大学・短期大学、各市町等
- ・内 容 DVとは、暴力の形態、DVチェックリスト、配偶者暴力相談支援センターの連絡先 等



【えひめ女性のための相談窓口パンフレット(外国語版)】

- ・部 数 1,000部
- ・配布先 県内各官公庁、関係機関、男女共同参画センター 等
- ・内 容 相談窓口の案内(英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、ベトナム語で表記)



○DV防止啓発広報活動

- ・女性に対する暴力をなくす運動期間(11/12~11/25)及び相談機関の周知
- ・市町に対する広報紙掲載依頼 ・県庁本館のパープルライトアップ
- ・県庁第一別館1階でのロビー展
- ・SNS広告によるひめここ(えひめ性暴力被害者支援センター)の周知
- ・DV相談ナビ、性暴力被害支援に関する啓発グッズの配布

○研修会への講師派遣事業

- ① 対象 一般県民、医療・救急関係者、教育関係者、社会福祉関係者等
- ② 内容 男女の人権の尊重、DVの防止、通報や情報提供に関する法の規定とその趣旨、被害者保護 等
- ③ 実績

機関名	開催日	講師等	参加者数
県医師会、県教育委員会等	令和6年7月6日	横嶋 剛 (日本女子体育大学 スポーツ科学科教授)	30名
市立宇和島病院	令和6年8月22日	石丸 世志 (愛媛県男女共同参画センター職員)	480名
松山市子育て支援課	令和6年11月12日	石丸 世志 (愛媛県男女共同参画センター職員)	30名

○高校生・学生向け デートDV、性暴力予防啓発講座

- ① 派遣先 県内の大学、高等学校等（県は講師を派遣）
- ② 対象者 学生、生徒、保護者等
- ③ 内容 講演、質疑応答、DVに関するDVD視聴 等
- ④ 実績

学校名	開催日	講師等	参加者数
新居浜工業高校	令和6年6月5日	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	527名
松山東中学校	令和6年7月17日	菊池 清美 (えひめ性暴力被害者支援センター職員)	101名
人間環境大学	令和6年10月3日	石丸 世志 (愛媛県男女共同参画センター職員)	125名
新居浜南高等学校	令和6年11月6日	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	384名
弓削商船高等専門学校	令和6年11月28日	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	128名
済美高等学校	令和6年12月12日	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	77名
新田高等学校	令和6年12月16日	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	617名
東予高等学校	令和6年12月19日	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	225名
松山南高等学校砥部分校	令和7年1月14日	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	46名
吉田高等学校	令和7年1月24日	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	230名
河原学園未来高等学校・ 河原 調理専門学校	令和7年1月30日	菊池 清美 (えひめ性暴力被害者支援センター職員)	50名
大西中学校	令和7年2月21日(予定)	越智 やよい ((公財) えひめ女性財団理事長)	111名

○教職員（中学校・高校）向け デートDV、性暴力予防教育研修

- ① 派遣先 県内中学校、高等学校
- ② 対象者 教職員
- ③ 内容 DVに関する基礎知識、教育のねらい、学習の進め方、指導の留意点 等
- ④ 実績

学校等名	開催日	講師等	参加者数
愛媛県高等学校保健会	令和6年7月26日(金)	村田ゆかり、門屋朝美 ((公財) えひめ女性財団職員)	30名

■えひめ性暴力被害者支援センター・ひめここ（媛CC）運営事業

性暴力被害者の尊厳を守り、心身に受けた被害の軽減、当該影響からの早期回復に資するため、被害者に対する専門の相談窓口機能を持ち、必要に応じて、医療機関等への同行支援や弁護士・臨床心理士による専門相談など適切な支援が可能なワンストップ支援センターの運営を行っています。（平成30年9月開設）



- ・委託先 公益財団法人えひめ女性財団
- ・業務時間 週5日(火曜日～土曜日)9時～17時
(上記開所時間外はコールセンターによる電話相談。24時間対応)
- ・業務内容
 - ①被害者相談支援・運営等
 - 支援員等に対する研修
 - 広報啓発(Web ページの運営、広告用クリアファイル、啓発用カード等の配布)



○えひめ性暴力被害者支援センター連携機関会議

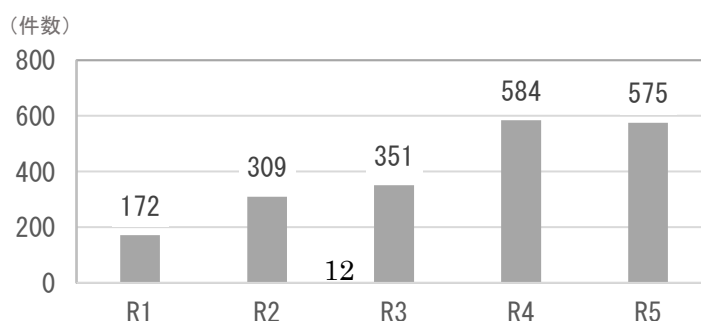
令和6年11月22日(金)(愛媛県男女共同参画センター)

②医療費等公費負担

法的支援(弁護士等による法律相談に要する経費を負担)

医療費等公費負担(医療的及び心理的支援を行った場合の費用を負担)

・相談件数



■男女共同参画社会づくり推進事業

○男女共同参画社会づくり推進県民大会の開催

男女共同参画に向けての意識の高揚や自発的な活動を促進し、県民総ぐるみ運動を展開するため、男女共同参画社会づくり推進県民大会を開催しました。

【第1部：一般県民対象】

- ・開催日：令和6年7月12日（金）
- ・場所：愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール（実地＋オンライン配信）
- ・参加者：県民会議会員及び一般県民等 200名
（来館135名、オンライン65名）
アーカイブ配信（1か月間）動画再生回数 178回
- ・テーマ：人口減少と少子化
～若者が希望を持てる未来をどう拓く？
- ・内容：基調講演 講師：櫻井 彩乃
（一般社団法人 GENCOURAGE 代表理事、
#男女共同参画ってなんですか代表）
対談 講師、桐木 陽子
（県民会議会長、松山東雲短期大学教授）



【第2部：学生対象】

- ・開催日：令和6年7月13日（土）
- ・場所：愛媛県男女共同参画センター 研修室（実地のみ）
- ・参加者：高校生18名、大学生1名
- ・テーマ：1 day ジェンカレ in 愛媛
～わたしにできるジェンダー平等について考えよう～
- ・内容：ワークショップ 講師：櫻井 彩乃



○教育関係者向け研修の開催

- ・日時：令和6年6月8日（土）9時30分～12時00分
- ・場所：愛媛県総合教育センター
- ・参加者：若手教員、教員を目指す大学生等 84名
- ・内容：講義、グループワーク
「変化の時代における性教育のあり方
～ジェンダー平等の実現に必要な保健の教養とは～」
講師：植田 誠治（聖心女子大学現代教養学部教授）
※県総合教育センターのえひめ教師塾において実施

○男女共同参画推進地域ミーティング開催事業

地域における男女共同参画社会づくりを一層推進するとともに、機運の醸成を図るため、地方局職員、市町職員及び地域で活躍するリーダーを対象とした男女共同参画推進地域ミーティングを開催し、地域課題の解決に向けた打開策を見出し実践していくための意見交換等を行いました。

- ・主 催：各地方局(共催：管内各市町)
- ・参加者：地方局男女共同参画推進班員、市町男女共同参画担当課長、
地域で活躍する者、その他(計 96 名)

地方局	東 予	中 予	南 予
日 程	令和 6 年 10 月 2 日(月)	令和 6 年 12 月 11 日(水)	令和 6 年 10 月 29 日(火)
会 場	オンライン開催	中予地方局	南予地方局
講 師	さくら社会保険労務士事務所 代表 脇本 美緒 氏	S. I. C オフィス 代表 河野 久美子 氏	女性と防災の会 代表/ 日本防災士会愛媛県支部 支部長 小國 恵子 氏
参加者数	27 名	22 名	47 名
内 容	相互理解と共感で、望む未 来を切り拓く ～もしもジェンダーギャッ プがなくなれば～	職員一人ひとりが輝く職場 づくり	防災に女性の視点を ～いま取り組んでおこう！～

○愛媛県男女共同参画センター

愛媛県男女共同参画センターは、愛媛県内における男女共同参画社会づくりの中核拠点として、女性の社会参加の促進、能力の開発等を通じて男女共同参画推進を図るため、各種事業を実施しています。(指定管理者：公益財団法人えひめ女性財団)

①各種の研修、相談及び学習機会の提供

・研修事業

エンパワーメントカレッジ(女性の人材・キャリア育成講座、困難女性等支援講座、公開講座等)、地域エンパワーメントカレッジ、男性のための共同参画セミナー開催事業

・相談事業

総合相談、心理相談、法律相談、男性相談、配偶者暴力相談支援センターとしての相談

②情報の収集及び提供

③女性の文化活動、地域活動等への援助

④施設の管理運営、利用許可